

市民派無所属府中市議会議員「市民の風」

結城りょう
市政通信

○結城亮 [携帯] 090-4136-7642

[E-MAIL] yuki4551@ozzio.jp

○住所 〒183-0004 府中市紅葉丘 2-6-3 メープルタウン吉野 D202

○ホームページ

結城りょう



（毎日ブログ更新中）



令和2年9月議会一般質問

府中市に「保育所、幼稚園、学校でPCR検査を実施すべき」と質疑、要望しました

「唾液によるPCR検査などの導入や、陽性者への医療や療養体制の確保などが想定され今後、多摩府中保健所とも協議を重ね、研究する」
…府中市の答弁

私、結城りょうは府中市議会一般質問で、新型コロナ対策で府中市の対応策について質しました。なかでも市民のみなさんから要望の多いもののひとつに、PCR検査の実施があります。

●質問 7月31日に市内の保育所、幼稚園で新型コロナの感染者が発生したことに関連し、私は「陽性反応の園児について、『いつから陽性だったのか』という点を市は把握していたのか。把握していないとすれば、今回の対応では感染者が広がるのではないかと懸念を主張、質疑しました。

⇒市の答弁は「陽性者の園児が無症状であったため、発症日を把握できないケースだったが、濃厚接触者を早期に特定し、感染拡大を防止するため、保健所の判断に従い適切に対応した」。

●質問 次に私は「陽性でも無症状であったならば、陽性反応の児童はその親御さんから感染した可能性がゼロではないではないかと思う。児童の保護者の方からすると情報公開にも「制約」がある状況ですから、不安になるわけです。市は『保健所の指導で、陽性反応が出てから2日前に登園してなければ感染の可能性はない』という見解ですが、どうしても園内に感染拡大している危険性はぬぐいきれません。「そこで今後は、保育所、幼稚園、学校などで感染者が発生した場合、濃厚接触者とされなくても、同じクラスの児童など関係者を市側で選定して、PCR検査をうけられるようにすべきではないか」と質しました。

⇒市の答弁は「感染者が発生した場合、同じクラスの児童などを関係者に選定するためには検査対応も含め、保健所と連携する必要があります。また調整すべき事項として、唾液によるPCR検査などの導入や、陽性者への医療や療養体制の確保などが想定されており、今後、多摩府中保健所とも協議を重ね、研究していきます」。

新型コロナで疲弊した府中市の地域経済活性化のために、大胆な施策を要望

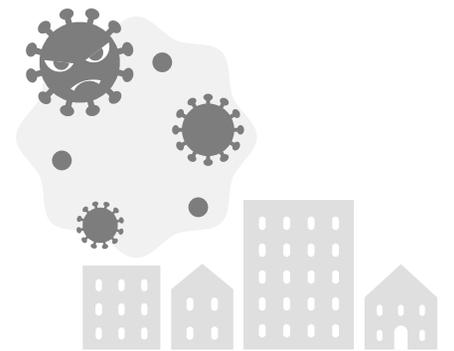
府中市議会「市民の風」として府中市の高野市長あてに、新型コロナ対策の緊急要望第2弾を提出しました

新型コロナウイルス感染拡大が市民生活を脅かすなか、市議会の会派「市民の風」として市長あてに緊急要望の第2弾として、具体策として22項目を提出しました。

7つの柱から構成する要望内容で、今回は新型コロナウイルス感染拡大に対する地域経済への支援策および、市内経済対策について特に要望しました。なかでも「市内経済、雇用等の実態調査」をはじめ、「市内経済の回復・再生のための内需喚起策及び地域内循環の経済体制への転換策」についての要望をはじめ、実態調査に基づいて、むさし府中商工会や民間企業、団体とも連携して、雇用対策の実施なども要望しました。

ほかにも市内において利用可能なプレミアム商品券などを発行や、テナントやアパートを経営しているオーナーに対し、感染症の影響により大幅減収に至った場合、市独自の財政支援、市内の事業者に対する、事業継続支援補助金・休業補償支援補助金の拡充および、事業所家賃の支援補助金などを要望しました。

また他の柱としては「教育・児童福祉対策」について、学校給食費への財政支援、学校や学童の衛生環境の整備、また国の子育て世帯への臨時特例給付金に該当しない、令和2年4月1日以降に出生した子供を対象に、「(仮称)子育て応援思いやり給付金」の交付も要望しました。また新型コロナの感染情報の提供、発信、避難所での衛生環境改善などについても要望しました。



府中市が新型コロナウイルスの経済対策として、破格のプレミアム付き商品券40%を実施します（消費喚起商品券交付事業）



この間市議会からの要望として、また私はじめ他会派の議員から要望されていた新型コロナに対する市民生活の防衛策について、府中市はこの9月議会において総額36億4,000万円分を第二次補正予算案を計上することになりました。そのなかの柱の1つに市内業者への支援策として、1冊1万円1万4千円分（500円件28枚）の買い物ができるプレミアム付き商品券、26万冊を発行することになりました（全市民が購入可能な冊数）。

この商品券はむさし府中商工会議所が発行、市は4000円のプレミアム分と事務費を補助するとしています。

1 人1冊購入可能なプレミアム付き商品券

この商品を購入できるのは市民のみで10月上旬から、はがきインターネットで申し込みを受け付けるとのことです。1人5冊まで、応募多数の場合は抽選ををするとしていますが、1人1冊は購入できるそうです。市内にあるお店の役1000店の参加が見込まれ、使用期限は11月9日から来年3月10日まで。問い合わせは府中市産業振興課 電話042-335-4142（読売新聞多摩版8月26日付より一部抜粋）。※この補正予算は市議会最終日（9月29日）で可決される見通しです。

東京都が新型コロナ感染者情報を府中市(都内の市町村)に週報します



府中市の新型コロナ感染者は9月8日現在、203人となり多摩地区で3番目です。府中市の場合、大型クラスターは春に警察学校で発生したのみで、あとは市中感染、最近では家庭内感染が特徴、全世代に広がっているのが特徴です。

9月4日付読売新聞多摩版に、新型コロナウイルス

感染者の情報について、「東京都は9月8日から、都の保健所が管轄する市町村に対して、週1回毎週火曜日、週間の新規感染者の年代、男女別、感染者と接触歴がある人数や感染可能性がある海外渡航歴がある人数、感染者の療養状況を『入院中』『宿泊療養』『自宅療養』『調整中』にわけ人数を示すこと、既存感染者を含めた療養状況などの『週報』を個別に情報提供する」と報じています。

都から提供されたこれらの情報については、「市町村の判断で公表可能とする」とのことです。また記事では「単独で保健所をもつ23区や町田市、八王子市、町田市と都の保健所が地域を管轄する他の市町村で『情報格差』があるとの指摘があった」。この記事では「多摩氏の担当者は『隣接する八王子、町田と比較されて、市民から、もっと情報を知りたい』という声があった。市報やHPで市民に伝えていきたい」と話した」とあります。

6月議会でも一般質問で要望していました

この感染情報の公開問題について、私も6月議会の一般質問でも取り上げ、「府中市でも23区が公開している情報ぐらいまでは、市民に情報公開してほしい」と要望した経過があるだけに、今回の東京都の措置は適切だと思います。早速、市の担当者にも都から提供された情報について、毎週、市のHPで公開するよう要望したいと思います。

府中市の官製談合事件で、市民団体が高野市長あてに公開質問状を提出

府中市の官製談合事件で市民団体(府中市官製談合を追及する市民の会)が高野市長あてに公開質問状を提出しました。新聞記事によると「昨年9月ごろから(市は)内部調査を始めていたのに、今年1月の府中市長選挙で『(高野市長候補が)府中市に何も問題もないような演説をし、逮捕・起訴された元市議会議員に選対本部長を選んだのはなぜか』など5項目をあげている」と報じています。この件で高野市長は6月の記者会見で、「捜査の結果がわからない段階なので、村木氏に本部長を任命した」という趣旨の発言をされています。高野市長が知らないところで2名の議員、市の幹部、業者が「談合」し、村木元市議などは100万円の賄賂を受け取っていたという容疑で再逮捕までされています。今回の事件に関与した容疑者を高野市長が厳しく断罪し、真相を明らかにされることを信じています。(9月1日付朝日新聞記事一部抜粋)

府中市官製談合事件続報・・土木業者が贈賄認める・・村木茂元市議を収賄罪で起訴

8月27日付朝日新聞多摩版に「府中市発注の工事情報を漏らすよう、市の幹部に働きかけた見返りとして、村木茂元市議が業者から現金100万円をうけとった」とされる事件の記事の続報が掲載されています。記事では「警視庁の調べに対して、業者(府中植木の田中善男容疑)が認めている」とし、「価格の割に負担の少ない工事だった」として、贈賄が成立する事件と報道しています。この記事では「これまでの調べに対し田中容疑者は『入札参加資格のために大きな工事が欲しかった』と供述」「市では毎年、建設業法に基づく『経営事項審査』により経営状況や受注実績などを点数化し、業者を格付け。最上位のAランクは3千万円以上の工事の入札に参加でき、Bは3千万円未満から2千万円、Cは2千万円未満から1千万円、Dは1千万円未満としています。府中植木はAとのことで、市内建設会社の社長は『ランクを落とせば1年間は元に戻れない。大きな工事を請け負えなくなる焦りがあったかもしれない』と話す」と報じています。

今回の官製談合事件は、府中市の一部議員と行政、業者間の「なれ合い癒着」関係を一掃する機会であり、引き続き事件の解明とこのような不祥事を二度と発生させない仕組みづくりに、全力をあげる決意です。

ノジマは府中の中心市街地に賑わいを創出できるか



伊勢丹府中店の後継テナントに、ノジマを中心に70~100の専門店が入居を予定

9月1日の日経新聞に伊勢丹府中店の後継テナントとして入居する家電量販

店のノジマについて記事が掲載されています。この記事によれば、後継テナントであるノジマは地上9階、地下1階、店舗面積約3万2000平方メートルの建物を(株)フォルマがノジマに貸して、ノジマが他のテナントにまた貸しすることです。市からの情報では「建物内には70~100店舗入るだろう」とし、様々な専門店の店が入るとのことです。この点記事では「フォーマルな場で使える飲食店、贈答品も購入できる店、子育て世代向けの店、コト消費ができる店などを検討している」と記事にはあります。

またこの記事では「ノジマは駅前に不足している業種について府中市民にインターネット調査とグループインタビューを実施。『府中駅前には家電をはじめワンストップで買い物やサービスを受けられる店がない』とのニーズが浮かび上がった」と報じ、ノジマは建物の上層階に入居し、他のテナントには集客に有利な下層階を譲り、ノジマから客を回遊させる効果を狙っているとのことです。

ちなみにノジマの開業は2021年春から夏を予定しています。ノジマは、伊勢丹府中なき府中駅前の街に賑わいを創出する「救いの神」になるのか、その動向に注目です。

結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウイルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただきますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです(電話にできない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます)。電話 090-4136-7642

また私、結城りょうはホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。[ホームページ検索→結城りょう]



府中市議会議員 結城りょう プロフィール
昭和45年(1970年)5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、労働組合事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員(現在、2期目)。所属する委員会は現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。